

事業計画

	事業名	日本語を母国語としない子どものための学習支援事業
	団体名	認定 NPO 法人 外国人の子どものための勉強会
	事業担当課	国際推進課
事業概要		
日本語を母国語としない子どもの学習面及び生活面を支援するとともに、地域の人々に日本語を母国語としない子どもに対する理解を促す。		
松戸市の課題	<p>松戸市では外国籍市民数が年々増加しており、それに伴い日本語を母国語としない子どもも増加している。こうした子どもたちの中には、言葉の障壁や、文化の違いによりいろいろな困難が発生する。</p> <p>① 周囲と円滑なコミュニケーションが行えない。</p> <p>② 授業を理解できない。</p> <p>③ 就学や就労の情報が得にくい。</p> <p>このような問題が、地域から子どもを孤立させたり、子どもの学習機会の喪失につながるものが危惧される。</p>	
事業の目的	<p>① 日常生活や学習に必要な日本語指導及び学習支援を行い、すべての子どもが均しく学べるようにする。</p> <p>② 就学や就職など将来における選択肢を幅広く持ち、真に自立することを促す。</p> <p>③ 子どもが地域から孤立しないための時間と場所を提供し安心して暮らすことのできる環境づくりを推進する。</p>	
事業内容	<p>下記の3つの事業を行うことで、日本語を母国語としない子どもを対象にした学習及び生活支援を強化する。</p> <p><u>1. 当勉強会のスタッフ、特に学生スタッフを増やす</u></p> <p>令和5年度に大学生に夏休み教室を企画運営してもらい、若い人たちの発想を生かした教室を実施した。この実績を生かし大学生など若い人材が外国人の子どもたちと接する機会を増やし、多文化共生への理解を深めてもらう。さらに当会教室のスタッフとしての参加につなげ、子ども達に将来のロールモデルとして接する機会を増やす。</p> <p>文化ホール教室 土曜 中学生対象 常盤平教室 火曜 小学生対象 木曜 中学生対象 土曜 小学生対象 新松戸教室 水曜 小中学生対象 夏休み教室 小・中学生対象</p>	

受験教室 中学3年生対象

1- (1) スタッフ養成講座を企画し初めての参加希望者にも日本語指導の基礎を学べる機会をつくる。ボランティア募集ホームページやチラシ広報などを利用して広く呼びかける。

1- (2) 2023 年度夏休み教室に初めて参加した外国ルーツの子ども達の多くが引き続き当教室へ入会の希望があった。しかし各教室ともスタッフ数や机のスペースがぎりぎりでは受け入れ出来ない現状だった。その解消に向けて土曜日午後に新たに常盤平教室の開設をめざす。

2. オンライン授業の導入

在籍生徒だけでなく新たに参加してくる生徒にもオンライン授業の希望を確認し、対応できる環境作りを目指していく。同時に昨年に引き続き全スタッフがオンラインでの授業のやり方を勉強する機会を設け、希望する生徒とスタッフのマッチング機会を増やし実績をつんでいきたい。

生徒の入会申込み用紙、スタッフの参加申込用紙ともにオンライン授業参加の希望有無を記載してもらう欄の追加を検討する。

3. 地域との協働

常盤平団地周辺で活動する「子ども食堂まんぷく小屋」が〈居場所作り〉の活動を計画している。ここは日本人、外国人の区別なく子どもを受け入れるが当会はそこに出張授業（1～2 回/年）として参加し日本語に困っている子ども達の学習支援を行う事を企画。

※1・3 は、チラシを作成し、市公共施設等に配架して日程等を周知する。

4. スケジュール

	取り組み	実施体制
4 月	1- (2)・常盤平新教室開設	待機中の教室参加希望生徒、 当会員、スタッフ参加希望者
4 月	2・オンライン授業開始	新年度参加で希望する生徒、当会員
5 月	3・出張授業開始	地域の外国にルーツを持つ子ども、 当会員
7 月	2・オンライン授業勉強会	全スタッフ
7 月	1- (1) スタッフ養成講座	スタッフ参加希望者、当会員、 外部講師
7 月	夏休み教室（5 日間）	地域の外国にルーツを持つ子ども、 在籍生徒、当会員

	<table border="1"> <tr> <td>9月</td> <td>1-(1)・スタッフ養成講座</td> <td>スタッフ参加希望者、当会員、外部講師</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>2・オンライン授業の拡大</td> <td>年度途中参加で希望する生徒、当会員</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>受験教室(5ヶ月)</td> <td>2024年高校受験を目指す当会生徒及び地域の外国にルーツを持つ子ども、当会員</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>2・オンライン授業評価会</td> <td>全スタッフ</td> </tr> </table>	9月	1-(1)・スタッフ養成講座	スタッフ参加希望者、当会員、外部講師	9月	2・オンライン授業の拡大	年度途中参加で希望する生徒、当会員	10月	受験教室(5ヶ月)	2024年高校受験を目指す当会生徒及び地域の外国にルーツを持つ子ども、当会員	3月	2・オンライン授業評価会	全スタッフ
9月	1-(1)・スタッフ養成講座	スタッフ参加希望者、当会員、外部講師											
9月	2・オンライン授業の拡大	年度途中参加で希望する生徒、当会員											
10月	受験教室(5ヶ月)	2024年高校受験を目指す当会生徒及び地域の外国にルーツを持つ子ども、当会員											
3月	2・オンライン授業評価会	全スタッフ											
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 勉強会の学生スタッフ増(令和5年度末人数+3名) ② オンライン授業の実施(10回実施) ③ 地域との交流事業の実施(1回以上) 												
協働の必要性(団体)	当勉強会が、行政と連携することで、行政の抱える課題の共有、事業の周知及び会場の確保を一層強化することができ、かつ事業活動の範囲を広げることができると考えている。												
協働の必要性(市)	松戸市では、将来を支える子どもたちのために様々な施策を展開している。その一環として日本語を母国語としない子どもが地域で孤立することなく暮らしていけるよう、日本語指導及び学習支援を実施することが重要と考えている。行政が、当勉強会と連携することで、言語の障壁や、文化の違いのために、日常生活を送ることにストレスや不安を感じる子どもたちに居場所を提供することができる。また、地域と子どもたちのかかわりを構築し、地域の人々に日本語を母国語としない子どもへの理解や協力を促すことができる。												
事業実施の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ① 団体：事業の実施(定例勉強会の運営、地域との協働) ② 担当課：会場の提供、事業実施に係る広報活動 												
今後の展望	<p>今までの協働事業の取り組みで外部から多彩な講師を招き多くの市民の方と学ぶことができ、当会への関心を持ち参加を希望される方も増えた。また近隣大学に学生ボランティアを募集にあって繋がりもできた。</p> <p>今後も広く市民、学生へ活動への参加を呼びかけ、外国ルーツの子ども支援の重要性・必要性を掴んでもらい、増え続ける外国ルーツの子どもへの日本語・学習支援を安定的に継続していきたい。子どもたちにとって大学生はじめ多様なスタッフと触れあう心地よい居場所も目指したい。</p> <p>また日本語学習に問題を抱える子どもたちにとって安定的な教室の確保が重要なため〈文化ホール国際友好ルーム〉と〈新松戸市民活動支援コーナー〉にて今後も継続的に支援を行う。そして常盤平地区については現在の場所が利便性は良いが収容能力が不十分なため、当面は教室回数を増やすことで対応し、当会独自でも新たなスペースを見つける努力をしていく。</p>												

事業の予算計画

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 2,918,544	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 135,920	事業費の一部を団体の会計より拠出
	生徒参加費	¥ 270,000	3,000円 × 3学期 × 30人
	自己資金の合計額 (B)	¥ 405,920	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 500,000	
合計額 (D) = (B + C)		¥ 905,920	

【支 出】

区分	科 目	予算額	積算内訳
負担金の 交付対象 経費	報償費	¥ 230,000	スタッフ養成講座講師謝金50,000円×2回 受験教室・夏休み教室外部スタッフ謝金 2,000円×5人×13回
	消耗品費	¥ 120,000	インク・コピー用紙・文房具・手指消毒液、事務用品、 衛生関連諸費等計50,000円、図書・教材費2,000円×35部
	印刷製本費	¥ 60,000	定例勉強会 生徒募集チラシ印刷（日本語・中国語・英語・ベトナム語） 20,000円（20円×250部×4言語） 養成講座・夏休み教室・受験教室・交流会 チラシ印刷 40,000円（20円×2000部）
	使用料及び賃借料	¥ 346,920	定例教室使用 常盤平教室：19,000円×12回、 新松戸教室：1800円×4回 夏休み教室：1000円×5回 受験教室：800円×25回 文化ホール教室授業運営会議：700円×8回 オンライン授業用 ポケットWi-Fi 5,000円×12ヵ月 ZOOM ID 1,760円×12ヵ月
	食糧費	¥ 3,000	講師講演中飲物、外部スタッフ生徒飲物 300円×10本
	対象経費の合計 (E)	¥ 759,920	
(その他) 対象外 経費	交通費	¥ 30,000	外部団体訪問等 1500円×5人×4回
	印刷製本費	¥ 30,000	会報 10,000円×3回
	通信運搬費	¥ 66,000	活動報告会報郵送代 22,000円×3回
	その他	¥ 20,000	オンライン授業用PC
	その他経費の合計額 (F)	¥ 146,000	
合計額 (G) = (E + F)		¥ 905,920	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×984円
	定例勉強会の受入れ生徒数を増やすための周知活動（チラシの作成・配布）	7,872 円	2 人 × 2 h × 2 回 × 984 円
	定例勉強会における授業の実施	2,715,840 円	46 人 × 2 h × 30 回 × 984 円
	集中勉強会の準備	49,200 円	5 人 × 2 h × 5 回 × 984 円
	オンライン授業の実施	47,232 円	2 人 × 2 h × 12 回 × 984 円
	地域との協働（常盤平団地自治会）の準備	19,680 円	5 人 × 2 h × 2 回 × 984 円
	地域との協働（常盤平団地自治会）の実施	78,720 円	10 人 × 4 h × 2 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
合 計 (A)	2,918,544 円		